

## 2 安全・安心

### (1) 方針

#### ア 減災の視点に立った防災対策の強化

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、減災の視点に立って地震などの自然災害の被害を最小限に抑える防災対策を強化します。

#### イ 総合的な雨水流出抑制対策の確立

局所的な集中豪雨の増加による河川の増水と浸水被害のリスクを最小限に抑え、市街地の雨水流出抑制を図るため、雨水貯留浸透施設の整備を進め、水害に強い都市づくりを進めます。

#### ウ 安全・安心な生活環境の整備

高齢者や障がい者をはじめ誰もが健康で、安全・安心で快適に暮らせるよう、生活環境の危険性を取り除くとともに、必要な施設・設備を充実します。

### (2) 施策の方向性

#### ア 都市の構造的な防災対策の推進

##### (ア) 幹線道路及び生活道路の整備

災害時に人的・物的な支援のために重要な役割を果たす、東西・南北の広域幹線道路を整備促進するとともに、既成市街地や田園集落の幅員の狭い生活道路について、緊急車両の円滑な通行などに対応した整備を推進します。

##### (イ) 建物の耐震化と避難地・避難所等の安全性の向上

木造住宅の耐震診断や耐震改修、都市施設の公園・緑地などの避難地の耐震対策を進めます。災害時に対策本部が設置される市庁舎や収容避難所に指定されている市有施設は、「天童市市有施設耐震化実施計画」に基づき耐震化を実施し、安全性の向上を図ります。

##### (ウ) ライフラインの耐震化

上下水道施設等のライフラインについて、新たな整備及び既存施設の改良により、耐震化を進めます。

#### イ 水害に強い都市づくり

##### (ア) 雨水調整池の整備

倉津川の洪水、冠水対策として、雨水の流出量を時間的に抑制するための雨水調整池を周辺環境に考慮しながら整備します。

##### (イ) 雨水貯留・浸透施設等の整備

雨水を公園や学校のグラウンドなどの地下に一時的に貯める雨水貯留施設、雨水を地面にしみこみやすくする浸透施設等を積極的に整備し、雨水の流出抑制を図ります。

健全な水循環の形成や地下水源の涵養を図るため、緑の保全や市街地での雨水浸透マスの設置、透水性舗装の整備や指導を行います。

(ウ) 雨水浸透施設設置奨励事業の展開

これまで、天童温泉地区、北目地区、長岡地区の雨水浸透施設の推進対象地域で実施してきた雨水浸透施設設置奨励事業を、倉津川に雨水が流入する市街化区域に拡大し、倉津川の負荷の軽減を図ります。

(エ) 土砂災害対策の促進

土砂災害の危険性の高い箇所について、関係機関と協議・連携を進め安全対策を促進します。

ウ 交通安全・防犯対策の強化

(ア) 交通事故の防止

歩行者の安全確保のため、通学路の歩道整備や交差点と路側帯のカラー舗装化を進めるとともに、道路反射鏡などの交通安全施設の整備を推進します。

事故が多発する交差点等の解消を図るため、信号機の設置に向けて関係機関との協議を継続して実施します。

(イ) 犯罪の防止

家庭、学校、地域と関係機関の連携を強化し、子どもの安全対策や青少年の非行防止対策のために、夜間における安全確保と犯罪抑止の観点から、公衆街路灯や防犯カメラなどの整備を推進します。

エ ユニバーサルデザインの導入

(ア) 歩行者空間のバリアフリー化の推進

歩行者などが安全・快適に利用できるよう、歩道の段差、傾斜、勾配等の改善、視覚障がい者用誘導表示の設置などの整備を図ります。

(イ) 建築物等のユニバーサルデザインの推進

公共施設の新築、改築にあたっては、ユニバーサルデザインを取り入れた整備を進めます。

オ 健康福祉の基盤整備

(ア) 高齢者福祉施設・障がい者福祉施設

地域包括ケアシステムの構築をめざして、高齢者福祉施設等の開設に向けた支援を行い、きめ細かなサービス基盤整備を図ります。

障がいがあっても、能力や適性に応じて地域で安心して暮らせるよう、グループホーム、ケアホームなどの入所施設を積極的に誘致するとともに、整備について支援を行います。

(イ) 子育て支援施設

芳賀土地区画整理事業地内に、子育て相談が可能で、保護者同士が仲間づくりを進めることができ、大型遊具を核として子どもたちの創造性の向上や基本的な運動能力の発達といった要素を取り入れた子育て支援施設を整備します。

カ 総合的雨水流出抑制対策構想図（別紙図面）

